

まえがき

このたびはビシャモンのスクーパーをお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用になる前に必ずこの取扱説明書を熟読いただき、十分に納得された上でご使用ください。なお、この取扱説明書は大切に保管していただき、万一紛失した場合は速やかに販売会社にご請求ください。また、製品に貼り付けてある警告シール等が剥がれた場合も販売会社にご請求ください。

＜ご注意＞

この取扱説明書では、お守りいただかないと重大な人身事故につながるおそれのある注意事項は「警告」という見出しの下に掲げてあります。また、お守りいただかないと傷害を負う可能性および物的な損害の発生が想定される注意事項は「注意」という見出しの下に掲げてあります。

＜使用環境について＞

使用場所・・・屋内
 周囲温度・・・0～40℃ 結露や凍結のないこと
 湿度・・・35～85%
 雰囲気・・・可燃性ガス・腐食性ガス・蒸気・粉塵のないこと

目次

- | | | |
|-----------------|------------------|----------------------|
| 1. 使用上の注意・・・1 | 5. 標準本体仕様諸元・・・5 | 9. 廃棄・・・・・・・・・・9 |
| 2. 各部の名称・・・・・・2 | 6. 油圧回路図・電気回路図・5 | 10. 商品保証規定・・・・・・8 |
| 3. 始業点検・・・・・・2 | 7. 定期点検・・・・・・6 | 11. アフターサービスについて・・・9 |
| 4. 操作方法・・・・・・3 | 8. 故障と対策・・・・・・7 | |

1 使用上の注意

警告			
下記の事項に違反すると重大な人身事故につながりますので必ず守ってください。			
			
チェーンプロケット部や他の動く部分には手を入れないでください。巻き込まれて怪我をします。	リフターを移動する時は前後に人がいないことを確認してください。	荷物を高い位置にしたまま移動や旋回をしないでください。転倒や荷崩れにつながります。	人を乗せないでください。人の転落やリフターの転倒につながります。
			
フォークの下に入らないでください。	段差のある場所では注意してください。転倒や転倒の危険があります。	傾斜地ではリフターを使用しないでください。転倒や暴走につながります。	走行時ホイールから足を離してください。巻き込まれて怪我をすることがあります。
			
フォークの先端では能力は低下します。先端だけに荷重をかけたりしないでください。	フォークに過積載をしないでください。本体の破損や荷崩れにつながります。	耐用期間(4年)が過ぎたり、錆びたり、痛んだチェーンは交換してください。破断して荷物が落下します。	リンク機構や他の部分に手足を入れないでください。巻き込まれて怪我をします。
			
充電時は火気厳禁。バッテリーの取り扱い取扱説明書をよく読んで行ってください。	感電注意。 油圧ユニットを開ける時には電源プラグを抜いてください。	バッテリーターミナルはカバーで完全に覆ってください。ショートにより火災や感電の危険があります。	高速スタートによって急発進・急旋回をしないでください。転倒や荷崩れにつながります。

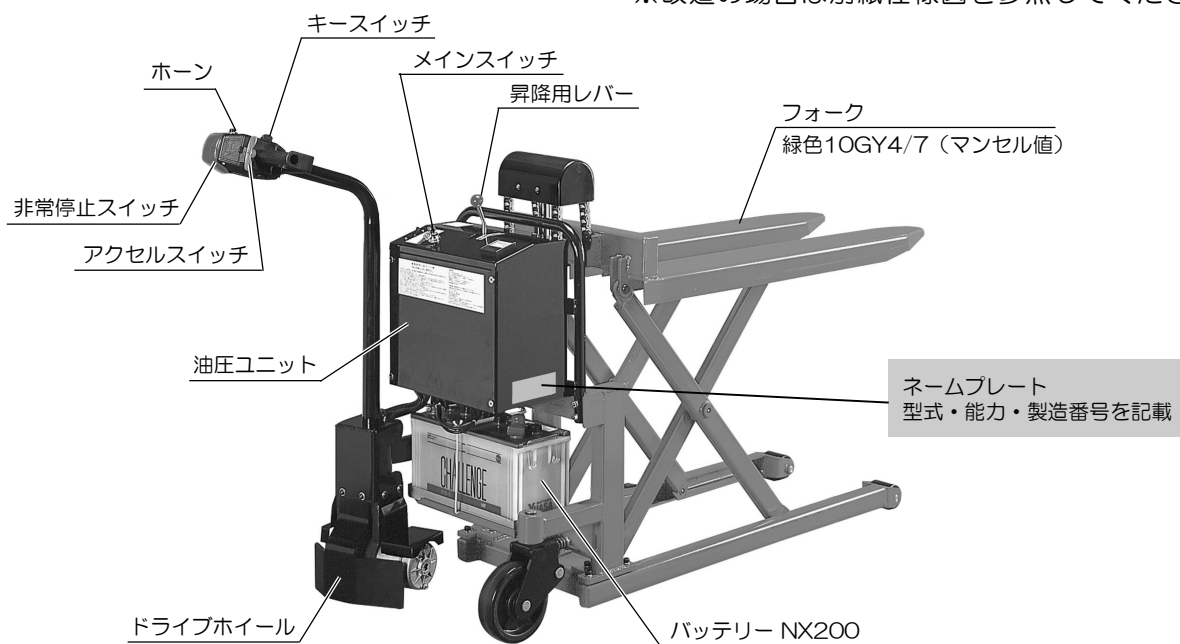
注意
<ol style="list-style-type: none"> 取扱説明書をよく読んで理解してからご使用ください。誤った操作は事故につながります。 本機は定格荷重以下の荷物を、荷重曲線の範囲内でフォークによって上昇下降させる移動式のリフターです。本来の目的以外に使用しないでください。 本機の使用は使用方法を熟知した人に限定してください。 荷物を積んだままフォークを急下降急停止させないでください。衝撃荷重が発生して本機を破損することがあります。 常に荷物の状態には注目し、もし荷物が不安定な状態になった時には操作をやめて荷物を整えてください。荷崩れの危険があります。 フォークの上に荷物を移動する時には必ずブレーキをかけて本機を固定してください。荷物が転落する危険があります。 片方のフォークに偏った荷重をかけることはやめてください。本機の破損や荷崩れにつながります。 安定性が悪かったり、しっかりと積載されていない荷物には使用しないでください。 取扱説明書に従って点検を必ず実施してください。 本機を許可なく改造しないでください。 フォークで荷物を吊り上げないでください。本機の破損につながります。 移動時にフレームと床の隙間や車輪に足を挟まれないように十分距離を取ってください。 修理や点検を行う時にはフォークから荷物を降ろしてから行ってください。修理や点検の作業中の怪我の危険があります。 本機は耐水仕様になっておりません。乾燥した所でご使用ください。 部品交換をする場合は必ず純正部品を使用すること。 昇降時に35秒以上の連続運転をしないでください。モーターが過熱します。 バッテリー、ヒューズなどの電気部品の交換を行う場合には、バッテリーの(-)側ターミナルを外してから作業を行ってください。 バッテリーは使いすぎると過放電状態になり寿命が低下します。

初期充電について

出荷時にバッテリーは充電されていません。ご使用前にこの取扱説明書、および充電器に添付されている取扱説明書をよく読んで充電を行ってください。

2 各部の名称

※改造の場合は別紙仕様図を参照してください。



MODEL : ALV98

3 始業点検

点検は本機を安全にご使用いただくため、また不具合箇所を早期に発見するために大きな役割を果たします。作業を始める前に必ず下記の事項を点検してください。

⚠ 注意

異常と思われる箇所が発見された場合は、異常箇所の修復を完全に行うまでリフトの使用を禁止してください。そのままお使いになるとリフトの破損および事故につながる危険性があります。

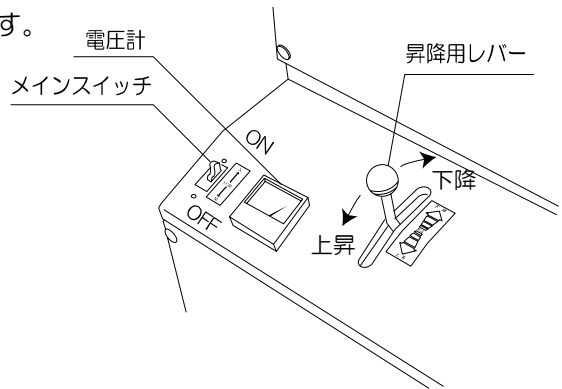
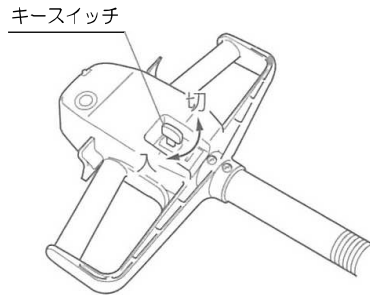
毎日作業前に実施してください。

- (1) 外観上で傷、曲がり、亀裂などはないか。
- (2) 前後輪の動きは良好か。
- (3) 油圧回路やシリンダーからオイル漏れはないか。
- (4) チェーンに傷、キンク、亀裂などはないか。
- (5) 自然降下はないか。
- (6) ブレーキの効きは良好か。
- (7) バッテリー液の量は適切か。
- (8) バッテリー端子は緩んでいないか。
- (9) バッテリーはしっかりと固定されているか。
- (10) ボルト・ナット類はしっかりと取り付けられているか。
- (11) ハンドルの作動は正常で著しい遊びやガタはないか。
- (12) アクセルスイッチの動きはスムーズで手を離せば常にニュートラルに戻るか。
また前進、後進、高速、低速すべて確実に作動するか。
- (13) ドライブホイールは異音を発生しないか。また大きく摩耗したり偏摩耗していないか。
- (14) メインスイッチ・非常停止スイッチは正常に作動するか。
- (15) 昇降用レバーの動きはスムーズか、手を離せば常にニュートラルに戻るか。
- (16) バッテリーは充電されているか。

4 操作方法

4-1 使用準備

- ① ハンドルのキースイッチにキーを差し込み右に回します。
- ② メインスイッチを「ON」にします。



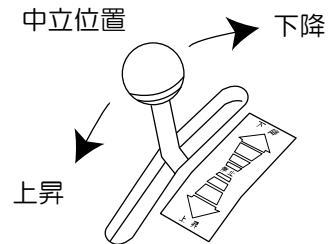
⚠ 注意

メインスイッチは過負荷運転を行うと、モーター保護のために自動的「OFF」になります。

4-2 昇降操作

昇降用レバーの操作によりリフトを昇降させます。
倒す角度により昇降速度が変わります。

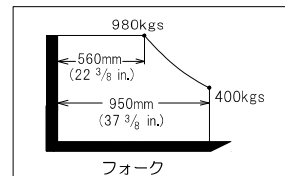
- ① レバーを手前に倒すと上昇します。
 - ② レバーを奥に倒すと下降します。
- また、昇降レバーを中立に戻せばその高さで停止します。
上限（下限）に達したら速やかに操作をやめてください。



⚠ 注意

能力以上の荷物を上げないでください。
また能力以内の荷物でもロードセンター※1よりフォークの先端に荷物の重心がある場合には、十分な能力が出ないばかりか本体を破損するおそれがあります。

※1 ロードセンターとは
本体の最大能力が発揮可能なフォークの根元からの距離です。



⚠ 注意

上昇速度を過度に遅くして35秒以上の連続運転をしないでください。
また、急下降操作は荷崩れなどを引き起こす場合があります。急下降、急停止をすると衝撃荷重が生じ、本体に損傷を与えることがあります。

4-3 電圧計

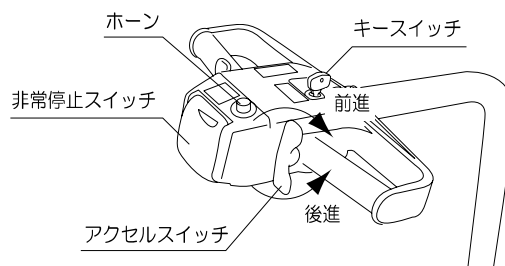
バッテリーの電圧を示します。バッテリーの残電量の参考にしてください。

⚠ 注意

80%以上の放電を繰り返すと、バッテリーの寿命は低下します。

4-4 走行操作

- ① アクセルスイッチの操作よりリフトを走行させます。
- ② スイッチ操作により前後進とも速度が無段階で変化します。
- ③ スイッチを強く押すほど早く走行します。
- ④ 非常停止スイッチを押すと緊急停止します。



⚠ 注意

荷物を高い位置したまま移動しないでください。
また、急旋回をしないでください。転倒や荷崩れにつながります。

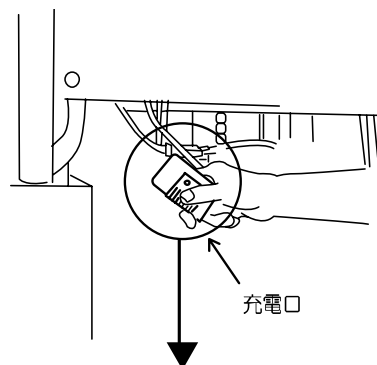
4-5 ホーン

押すと警報音が鳴ります。

4-6 バッテリーについて

【充電方法】

- バッテリー液が規定液面まで入っているか確認してください。不足している場合は精製水を入れてください。
- バッテリーソケットを抜き、抜いた方のソケット（「充電口」と明示あり）に充電器のソケットを差し込んで充電してください。
- 充電器の取り扱いは、充電器に添付してある取扱説明書を参照してください。

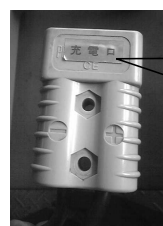


⚠ 警告

バッテリー充電時は火気厳禁。
バッテリーの爆発の危険があります。

充電は風通しのよい場所を選んで行ってください。水素ガスが充満し、爆発するおそれがあります。

また、バッテリー液が不足した状態で充電を繰り返し行うと、爆発するおそれがあります。



充電口のソケットは、必ず「充電口」とシールが貼ってあるソケットに接続してください。



「充電口」とシールが貼っていないソケットに接続しないでください。こちらに接続してもバッテリーには充電されません。

【取り扱いについて】

- バッテリーは消耗品ですので、保証規定の範囲から外れます。
- バッテリーの充電可能回数は約 150~180 回が目安ですが、保守の仕方次第で性能も寿命も大きく変わります。

⚠ 注意

バッテリーターミナルはカバーで覆ってください。ショートによる火災や感電の危険があります。バッテリーに過充電・急速充電をしないでください。100%放電をしないでください。

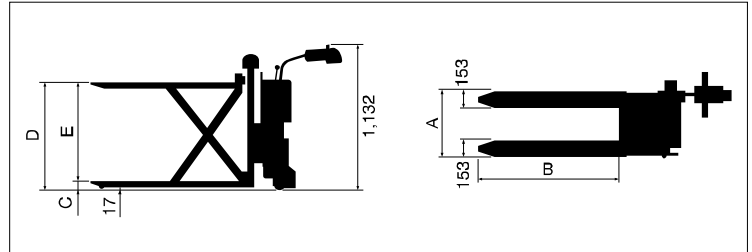
5 標準本体仕様諸元

※改造の場合は別紙仕様図を参照してください。



注意 フォークに記載してある能力以上の荷物は上げないでください。

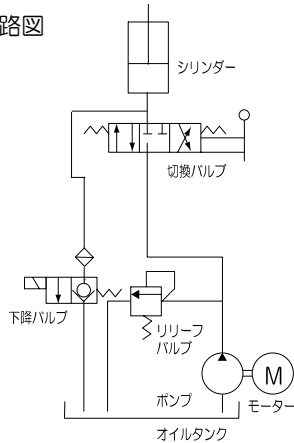
型式		ALV98	ALV98W
能力	(kg)	980	
A	フォーク外幅 (mm)	520	685
B	フォーク長 (mm)	1080	
C	フォーク最低高 (mm)	83	
D	フォーク最高高 (mm)	833	
E	揚程 (mm)	750	
ハンドル高さ (mm)		1132	
全幅 (mm)		687	852
全長 (mm)		2040	
上昇時間 (約秒)		18	
下降時間		可変式	
前輪径 (ウレタン) (mm)		70	
後輪径 (ウレタン) (mm)		180	
自重 (kg)		219	227
搭載バッテリー		130E41R	



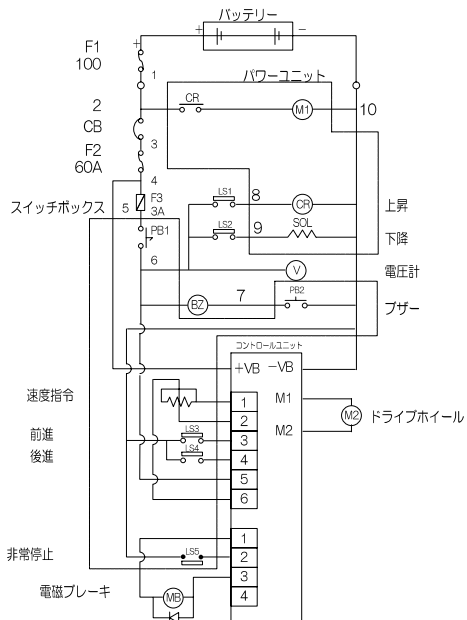
※本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

6 油圧回路図・電気回路図

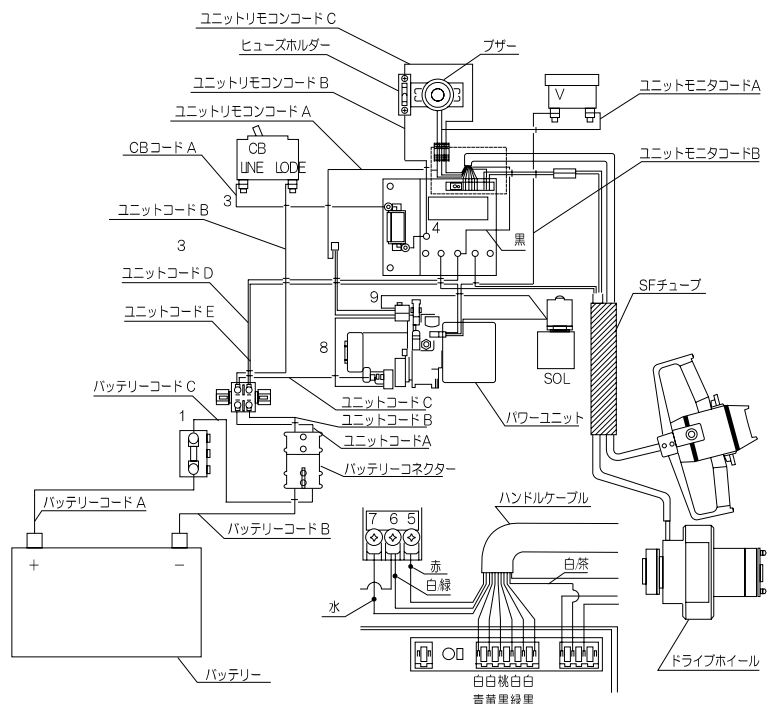
油圧回路図



電気回路図



実態配線図



7 定期点検

安全に使用していただくために必ず定期点検を実施してください。

1. チェーンに錆、傷、亀裂、キンクなどはないか（1ヶ月毎）
2. バッテリーのターミナルカバーは正常についているか（1ヵ月毎）
3. リンクのローラー摺動部・チェーン等へのグリスアップ（6ヶ月毎）
4. バッテリー充電後、各セルの比重は 1.270（20℃）以上あるか（6ヶ月毎）
5. 作動油の交換（1年毎）

⚠ 注意

<グリスニップルについて>

グリスガンではグリスが入らない場合があります。
エアもしくは電動のグリス用ブリケーターをお使いください。

●作動油の種類

粘度区分 ISO VG32 耐摩耗性油圧作動油 作動油量：1.55L

●バッテリー交換について

本製品には下表の JIS 形式のバッテリーが使用されています。

交換の際は必ず同一形式のバッテリーをご使用ください。

（JIS 形式：130E41R）

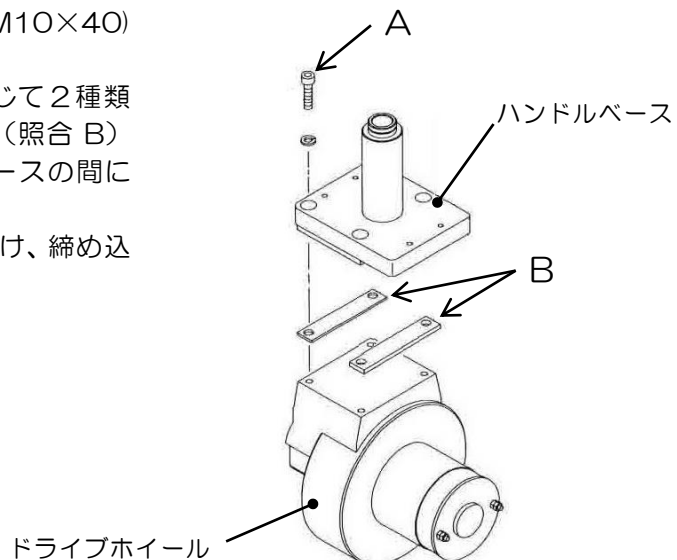
⚠ 注意

- ・必ずバッテリーソケットを外してから作業すること。
- ・くれぐれもショートに気を付けること。
- ・＋と－を間違えないこと。
- ・＋ターミナルには必ずカバーをすること。
- ・バッテリーが振動等で動かないように、バッテリーの固定にバッテリークランプを必ず使用すること。
- ・使用済みバッテリーは個々に廃棄せず、バッテリー販売会社などの専門業者に引き取ってもらうこと。専門業者でないと処分できません。

●ドライブホイール調整方法

ドライブホイールが摩耗してきたら、下記手順に従いドライブホイールの調整を行ってください。

- ① 照合 A で示した六角穴付ボルト (M10×40) 4本を外します。
- ② ドライブホイールの摩耗具合に応じて2種類（板厚 3mm、6mm）の調整座金（照合 B）をドライブホイールとハンドルベースの間にに入れてください。
- ③ ①で外した六角穴付ボルトを取り付け、締め込んでください。



8

故障と対策

ここではご使用される皆さまが手掛けることのできる、比較的やさしい故障の処理の方法を述べています。その他の故障やご不明な点がありましたらお買い上げいただいた販売会社までご連絡ください。

故障状況		原因	対策方法
走行も昇降もしない		キースイッチ、メインスイッチの入れ忘れ	キースイッチ・メインスイッチを入れる
		バッテリーソケットが外されている	バッテリーソケットをしっかりとめる
		バッテリー容量不足	バッテリーをチェックの上、充電
		ヒューズ切れ	100A、10Aヒューズの点検、交換
走行しない	前・後進ともにしない	走行リモコンコードの断線	断線箇所の修復および交換
		走行モーターコードの断線	断線箇所の修復および交換
		ブレーキコードの断線	断線箇所の修復および交換
	前・後進どちらかしか動かない	走行リモコンコードの断線	断線箇所の修復および交換
		走行モーターコードの断線	断線箇所の修復および交換
		電磁接触器の溶着または接触不良	電磁接触器の交換
上昇しない	モーターが回らない	配線不良	実態配線図により点検
		パワーユニットの不良	パワーユニットの交換
	モーターは回っている	リリーフバルブの調整不良	リリーフバルブ再調整
		パワーユニット（ポンプ）の不良	パワーユニットの交換
		オイル不足	規定油量にする（1.6L）
自然降下する		下降バルブのシート不良	下降バルブの交換
		配管不良	油漏れ箇所の修復
下降しない		配線不良	実態配線図により点検
		下降バルブの不良	下降バルブの交換

9

廃棄

本機を廃棄する時は鉄鋼材・非鉄材・樹脂材・作動油等に分別し、産業廃棄物として処理してください。作動油の処理方法については法令で義務付けられています。法令に従い適正に処理してください。ご不明な場合は販売会社へ相談のうえ処理してください。

10 商品保証規定

保証規定

取扱説明書、本体注意シール等の注意書きに従って正常な使用状態で保証期間内（納入後3ヶ月以内）に故障した場合は、弊社の責任において無償にて欠陥部品の手直し、修理、取り替え、交換部品の送付をいたします。ただし、二次的に発生する損失の保証および、次の場合に該当する故障は保証いたしておりません。

- (1) 使用上の誤り、保守点検、保管等の義務を怠ったために発生した故障および損傷。
- (2) 商品の作動機構に悪影響を及ぼす変更（改造）を加え、それが原因で発生した故障および損傷。
- (3) 消耗品が損傷し取り替えを要する場合。
- (4) 火災、地震、風水害、その他天災地変等、外部に要因がある故障および損傷。
- (5) 指定された純正部品を使用されなかったことに起因する場合。
- (6) 日本国外で使用される場合。
- (7) 保証請求手続きが不備の場合。（例：型式および機体番号の連絡がない場合 etc.）
- (8) 設置に原因がある故障および損傷。
- (9) 弊社販売会社および弊社以外で行われた修理。
- (10) 酷使・過失または事故によって生じたと認められる故障。

なお、本製品およびその付属品に使用されているゴム部品等のあらゆる自然消耗する部品、ならびに消耗品については保証の適用は除外させていただきます。

**本製品は屋外設置および耐水仕様になっておりませんので、
錆・腐食・漏電等の水による故障は保証いたしておりません。**

保証請求方法

上記規定に基づき本製品の保証請求を行う場合は、お買い上げいただいた販売会社までご連絡ください。販売会社において必要な手続きを実施いたします。

なお、保証の可否は勝手ながら弊社において判断させていただきますのでご了承ください。



アフターサービスについて

調子が悪い時	まずこの取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
それでも調子が悪い時	商品保証規定に従い修理いたしますので、お買い上げいただいた販売会社へ修理を依頼してください。
保証期間内の修理について	保証期間は納入後3ヶ月以内です。商品保証規定の記載内容に基づいて修理いたします。
保証期間後の修理について	お買い上げいただいた販売会社へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
補修用性能部品の保有期間	本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後10年間です。 (性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です)

アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点は、お買い上げいただいた販売会社へお問い合わせください。お問い合わせいただく際には、次のことをお知らせください。

型式・機体番号・購入年月日・故障状況（できるだけ詳しく）

上記事項を下表に記録しておくこと、お問い合わせの際に便利です。

型式		
機体番号	No.	
購入年月日	年 月 日	
購入店名	社名：	担当者：
	住所：	電話：
設置業者	社名：	担当者：
	住所：	電話：
故障日・状況	年 月 日 状況：	

MEMO

MEMO



<http://bishamon.co.jp> E-mail: sales@bishamon.co.jp

〒444-1394 本社 愛知県高浜市本郷町4丁目3番地21 tel.0566-53-1126 fax.0566-53-1844

〒146-0083 東京 東京都大田区千鳥2丁目2番12号 tel.03-3759-9722 fax.03-3759-9723

〒537-0002 大阪 大阪府大阪市東成区深江南2丁目3番22号 tel.06-6747-7617 fax.06-6747-7618

その他営業拠点 仙台・前橋・広島・福岡

OM-ALV98(W) 2212⑧9304-S